

記者会見における「所信表明」

2001年2月、私を会頭に指名して頂いて3年余り、議員の皆様をはじめ関係各位に熱く支えて頂き、「美感都市・京都」の街づくりと活力ある産業振興に努めてまいりました。

私が会頭に就任しました2001年は、長引くデフレ不況や、バブルの後遺症からようやく立ち直りはじめたとは言え、企業倒産は依然高水準で、京都府の完全失業率も6%台という状況で、京都の染織や伝統産業も市場回復の兆しは見えず、京都経済は厳しいものがありました。

新しい世紀に入り、新しい世界秩序の下、経済復調もこれからという時に、2001年9月11日、米国へのテロ攻撃があり、上向きかけた世界経済は大きな打撃を受けました。

以来、今日までの3年間、やや落ち着きを取り戻したとはいえ、経済面は今後も予断を許さず、先行きの不安感は拭い去られておりません。

そんな中で、先日の大統領選では、ブッシュ氏が再選され、米国の政策が継続されることは、喜ばしく存じます。それと呼応して、我が国の小泉内閣も、我が国の遅れたところをしっかりと直していただきたいと存じます。

さて、本日、150人の新しい議員の皆様から、引き続き会頭にと、温かいご支持をいただきました。日本の誇りとする京都の発展のため、微力を尽くしたいと存じます。

私が会頭に就任して以来提唱して参りました「美感都市・京都」の充実、完成に向けて、さらに力を尽くしたいと存じます。

「美感都市・京都」の美は、ハードウェア、即ち、美しい自然、風格のある建物、しっとりとした街並みを指します。感は、ソフトウェア、即ち、そこに住む人々の品性、品格であります。美しく風格のある街に豊かで、心根の温かい人々が住む、魅力ある街にしたいと願っております。

まず第一に、産業基盤の強化を図りたいと存じます。産学公連携を一層具体的に推進し、多くの大学にある知識を新しい製品に、ユニークな商品に、またベンチャービジネスのシーズとして、活用したいと存じております。

大学・京都府・京都市、そして国との連携を強め、京都市リサーチパーク、桂テクノパーク、学研都市での産学公連携事業を通じて、京都産業の活性化を図りたいと願っております。

京都の国立大学は、本年になって独立行政法人化が進んでいます。そのなかで、京都大学、工芸繊維大学等において、産学公の連携による事業が極めて具体的に進み始めました。立命館大学や同志社大

学、龍谷大学など、私立大学も産学公連携に極めて意欲的でありまして、京都産業の振興にとって大きな期待がもてるものと思います。

第二に、「京都ブランド」の構築であります。京都商工会議所は、本年9月「京都創業者憲章」を制定しました。この憲章に基づいて、京都ブランド振興事業をより具体的に進めてまいりたいと考えています。京都の街、そのものをブランドとして、日本全国、世界に広めたいと存じます。そこに住む人々は謙虚で、優しく魅力あふれる人々であり、それらの人々によって作られる製品、商品は「ほんまもん」であり、優れたものであるとの信頼を勝ち取りたいと存じます。これには、京都市民の全員の参加が欠かせません。

稲盛財団の京都賞、ロームさんのクリスマスイルミネーション、任天堂さんの百人一首プロジェクトを始め、多くの祭りを支える人々、鴨川を美しくする会の長年にわたるボランティア活動等を多として、京都を良くしようとする人々の熱意に敬意を表するとともに、このような人々が今後も増えていくことを願っております。

京都に住む人がもっと自分の街のことを知らなければなりません。本年度から実施する「京都・観光文化検定試験」は、京都の文化・歴史を学ぶ機会の提供し、京都の観光振興に対する意識向上と参画を図るものであります。観光の振興は京都の伝統産業を始め、多くのお店にとって大切な事業であります。組織の一元化が必要と思えます。

第三に、12,000人近い我が商工会議所の会員企業は、その多くが中小企業であります。京都商工会議所の日常活動として、会員企業の皆様への経営支援体制を京都府、京都市のご支援を頂いて取り組んでおりますが、より便利で、より迅速な、そして内容の濃い経営相談体制を目指して、昨年、中小企業経営相談センターを御池烏丸に新たに開設したところです。ビジネスモデル事業も多くのベンチャー企業に一層期待されるものとして取り組みを進めてまいります。

いよいよ会議所も、21世紀に相応しい事業活動を本格的に強化していかなければなりません。現在進めようとしている事業の重点課題として、21世紀を生き抜くための京都の産業構造づくりを目指して、会議所の活動をしなければならないと考えております。既に、部会の再編成の方針は固まっていますが、新しい部会体制を150人の議員の皆様の方で達成してほしいと願っております。

150人の新議員の皆様、私たちは誇りをもって京都から日本の美しきものを世界に発信していくために、共に力を合わせて行動しようではありませんか。

改めて、会頭にご指名頂いたことにお礼申し上げますとともに、皆様とともに力一杯、京都の発展に尽くすこととお誓い申し上げます。私の再任に際してのご挨拶とさせていただきます。